

研究発表もうしこみフォーム

氏名：R. オトゴンバートル

氏名のローマ字表記：Rinchinsambuu OTGONBAATAR

所属：モンゴル科学アカデミー言語文学研究所

専門分野：モンゴル文献学

発表のタイトル：イシバルダン著『エルデニーン・エリヘ』のモンゴル語とチベット語の異本について

発表要旨（600字～800字程度）：

モンゴルの学僧の一人、オルドス地方の僧イシバルダンは19世紀の前半に簡素な歴史文献を著し、それはチベット語とモンゴル語で流布した。チベット語の異本は当時木版で印刷されたが、現在まで極めて少数の版本が伝わっているにすぎない。モンゴル語の異本は主として毛筆で書写された写本が各地の図書館や個人蔵として、少数伝播してきているようである。

この小品は、モンゴルの政教の歴史に合致・連関する伝統に沿って、宗教史を記述するチベット語の「チョエジュン」、すなわち仏教が興った経緯を記述する方法で書かれている。古来のしきたりに沿って総体的に歴史をまず述べ、さらに、著者自身が熟知する地方の寺院についてかなり詳しく述べていることは、後代の我々に価値ある遺産となっているという良い点がある。また、この歴史作品において、モンゴル文字の歴史の部分を独立させて書かれているという特徴がある。

本作品を、内外のモンゴル学者はモンゴル語とチベット語原文として、また訳注として数回にわたって出版してきた。しかるに、これらの原典は、それが公表される際に参照されえなかった諸異本と校訂し、詳細に研究する価値がある。この点を検討したい。